

日本共産党湘南地区委員会

青年・学生オーガナイザー

小松崎 和奈さん

日常のモヤモヤを 行政に伝え、動かす

一番のエネルギーは、やはり運動の中に身をおくことです。

大学在学中からフェミニズムにのめり込み、昨年7月に入党しました。

自身の政治的な軸は、性加害根絶、女性差別撤廃です。連載の機会をいただきましたので、私の中で活動のエネルギーになっていくことについて、いくつかお伝えできればと思います。

でした。

デモを毎月開催している
と、新しい人と出会うこと
もあります。10月のフラワ
ーデモでは、「五ノ井里奈
さんの事件を受けて興味を
持った」という大学生が参
加してくれました。こうし
た新鮮な出会いもエネルギ
ーの一部になっています。

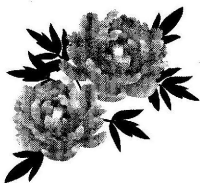
フラワーデモの開催は、
ある種既存の運動を広げる
形で行っているものでは
すが、自分で運動を起こすこ
とも同じくらい大切だと感
じています。

2019年4月に始まっ
たこの運動は全国に広が
り、性暴力根絶・刑法改正
を求め、毎月11日に各地で
デモが行われています。
私自身が幼少期に性被害
に遭っていることもあり、
地元でのフラワーデモ開催
はずっと目指していたもの

市民にすぎない自分にも政
治を変える力があるんだと
確信することができ、次の
活動に向かうエネルギーが
湧いてきます。
今度は、鉄道警察隊巡査
部長による盗撮事件を受
け、県警に申し入れができ
ないかと計画していること
ろです。

私言もいたたい

— フェミニスト編 —



ありますが、成果を勝ち取
ったときの喜びもひとしお
です。日常生活で感じるち
よつとしたモヤモヤを行政
に伝え、実際に動かす。一